

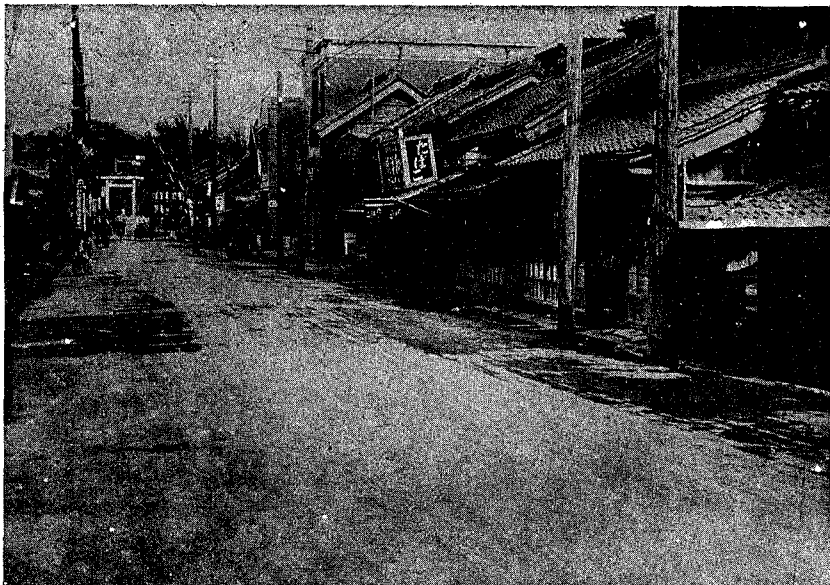
道路改良の道

禁 轉 載

第五十卷 第七號



道路改良會發行



千葉縣船橋町トベカ式アスファルト鋪裝道路（6.5 糎厚）13214 平方米
昭和八年五月竣工 日本石油株式會社道路部施工

日本石油株式會社
道 路 部

營業種目 アスファルト其他各種道路及一般工事請負
特許ワーレナイト・ビチユリシツク鋪裝一手施工
特許簡易鋪裝デツプファルト一手施工
各種石油製品・國產アスファルト製造販賣
日石アスファルト乳劑製造販賣・工事請負

營業所 本 社 東京市麴町區丸ノ内三ノ四
出張所 横濱・名古屋・大阪・京都・福岡・下關・臺北・
京城・大連・新潟・秋田・小樽

道路鋪裝用

專賣特許瀝青乳劑「エマルピア」
製造販賣並鋪裝工事請負

瀝青乳劑「エマルピア」種類

- 透入用 瀝青乳劑「エマルピア」
- 不凍性 瀝青乳劑「エマルピア」
- 巻覆性 瀝青乳劑「エマルピア」
- 濃厚 瀝青乳劑「エマルピア」
- 混合用 瀝青乳劑「エマルピア」

東京瀝材工業所

東京市京橋區銀座西三丁目一番地碌々館

電話 京橋 一、三二五番

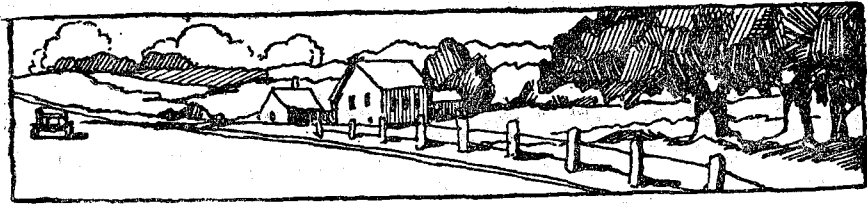
製造工場 横濱市鶴見區菅澤町一九五

電話 鶴見 一、一三一番

大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座二丁目二、九

電話 京橋自二、一三〇 至二、一四九番



道路の改良 第十五卷 第七號 目次 昭和八年七月一日發行

口繪

京阪國道京都府下鳥羽橋
神明國道兵庫縣下灘邊り

卷頭言

論說

國立公園計畫と道路

林學博士 田村剛(三)

時論

大阪のGO・STOP問題道路警察權を擁護せよ

路政僧(一〇)

研究

府縣市町村より見たる道路事業(三)

平井良成(一四)

技術

電孤鎔接鋼構造物示方書(鎔接研究會案)

內務技師 青木楠男(四)

瀝青質材料の引火點、燃燒點、自然發火溫度

內務技師 西川榮三(六)

二層式混凝土鋪裝成績

內務技師 米田正文(五)

座談會

道路維持座談會完

(九)

海外道路時事

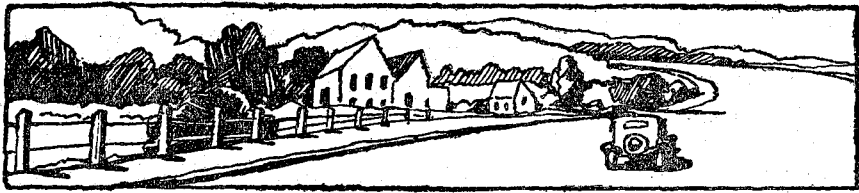
各種鋪裝の經濟的比較……大車輛と混凝土鋪裝……
佛國の除雪機……佛領西アフリカの大貯橋……

內務省土木試驗所長 物部長 穗(二〇)
工學博士

史料

英國道路物語(十一)

山下定文(二五)



漫 錄

交通情勢調査の前期を觀て

谷口松雄(二三)

時 評

路政時評

丹波浪人(二三)

隨 筆

時事雜感
老人退却の是非

白洋漁夫(三七)
弦田彌多朗(四一)

批評と紹介

岡山縣の道路愛護事業

岡山縣土木課長 長谷川勝伍(四四)

日本に於けるセメント工業に就て

狩野宗三(四七)
藤井光藏(四七)

地 方 通 信

北海道方面：東北方面：北陸方面：東海方面：近畿方面：中國方面：九州方面：(六三)

假 面 劇

衣裳の變遷と道路舗裝：交通網にひつかかつたか：三原山から舞子の濱へ：結婚媒介事業は國營か：並木の愛護：女は火の用心：滑つたの轉んだの：舉國一致の第一歩：争議の色別：(七九)

法 令

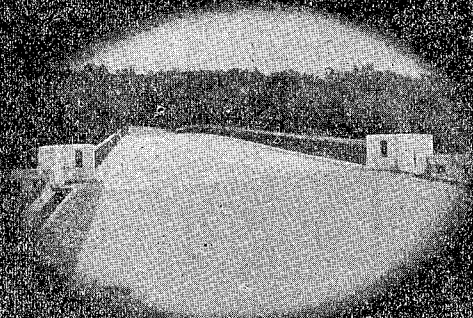
法令日記：昭和八年度農村振興其の他土木事業資金融通に關する件通牒：囑託登記に關する件：契約履行請求控訴事件長崎控訴院昭和八、二、一三言渡：所有權確認動産引渡請求控訴事件東京地方裁判所昭和八、二、四言渡：損害賠償請求訴訟事件東京地方裁判所昭和八、四、一九言渡：詐欺被告事件大審院昭和八、二、二宣告：(八三)

雜 報

國際道路問題調査委員會：全國交通網調査會：京津國道竣工式：滿洲國國道局主任技術官の赴任：九州土木課長會議：叙任辭令：編輯室の内外：(九六)
(一〇四)
(一〇七)
(一一三)

日立 アスファルトブロック

- 過去拾ヶ年ノ實蹟ガ證明スル特許
鋪裝材ニシテ他ノ追隨ヲ許サズ
- 更ニ特許日立工法ノ完成ニヨリス
界ニ絶對ノ信用ヲ博ス



栃木縣
晚翠橋



東京府 中川橋

福島市 信夫橋

日本鑛業株式會社

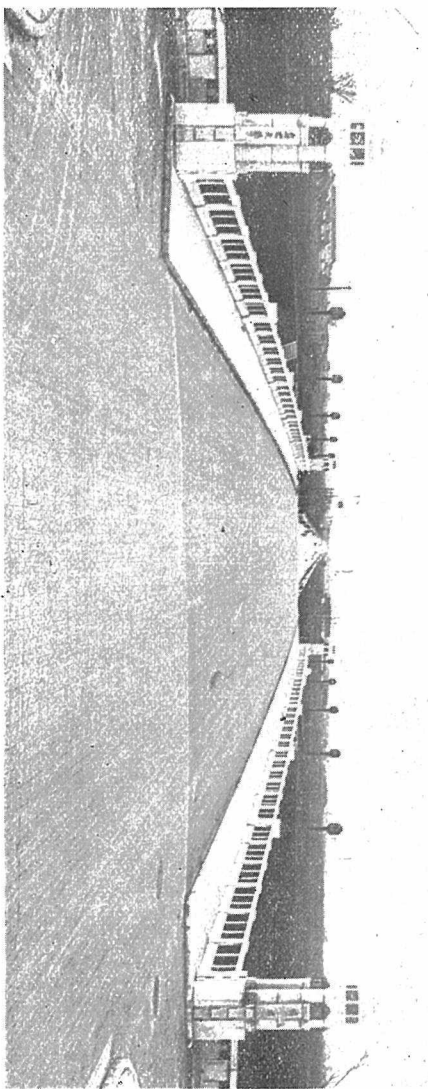
東京丸ノ内

大阪中ノ島

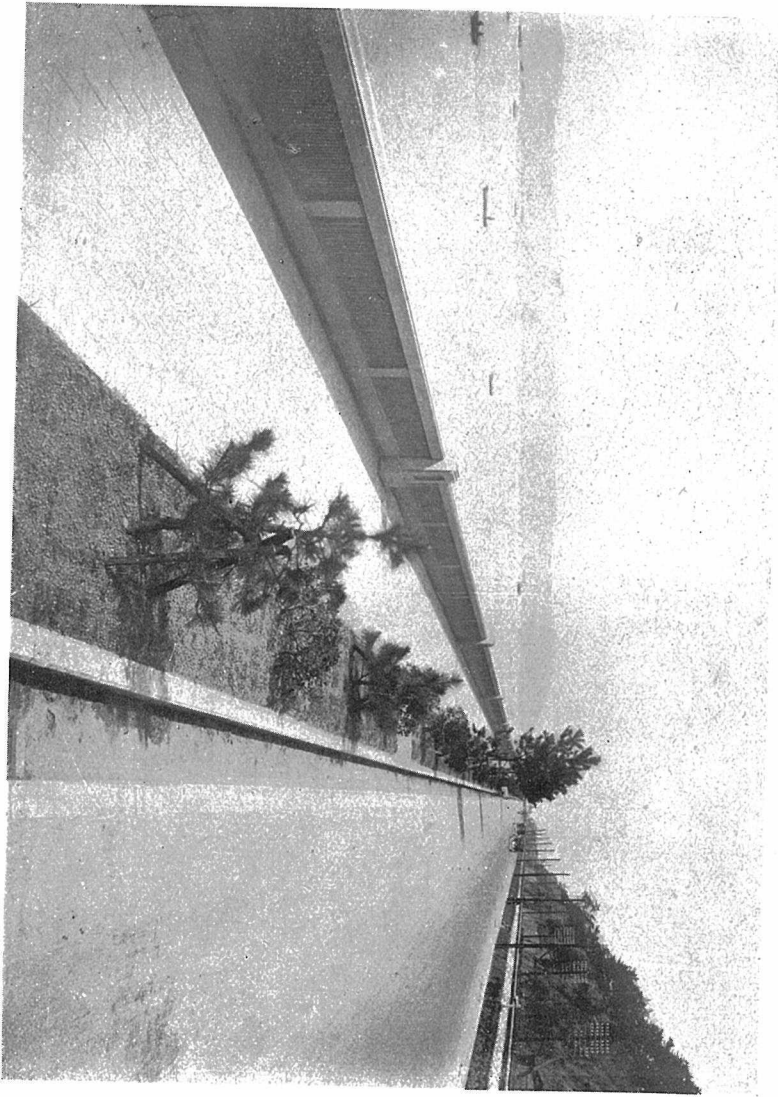
電話丸ノ内 (23) 1241-7

電話本局 260-4

（照參信通方地） 橋羽鳥下府都京道國阪京



（照參信通方地）　　り邊灘下縣庫兵道國明神

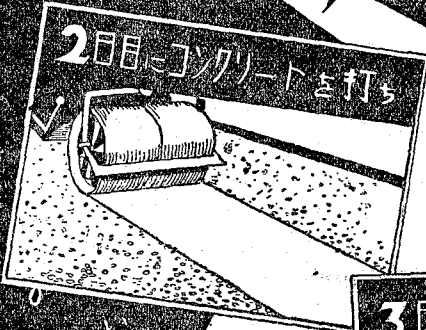
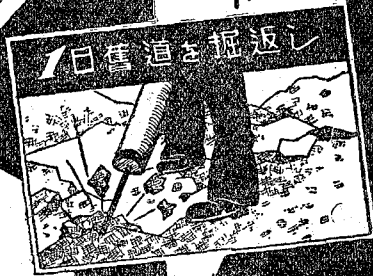


道路工事は

浅野セメント

100% 新道

CONCRETE
駱駝
コンクリート道路
平気です



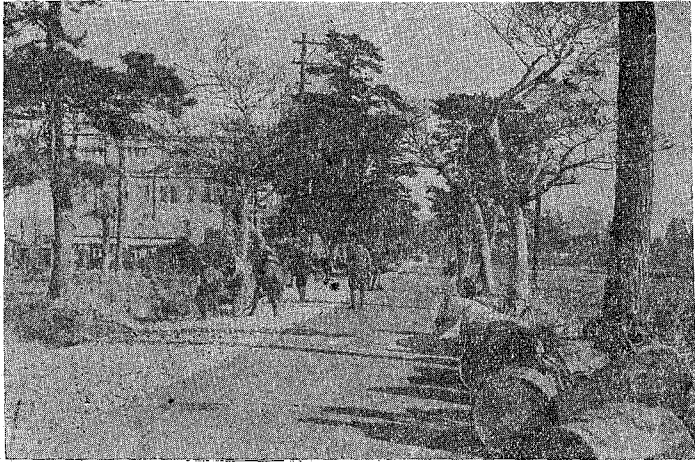
いくら降っても
永鴨と
コンクリート道路は
平気です

浅野セメント株式会社

簡易舗装

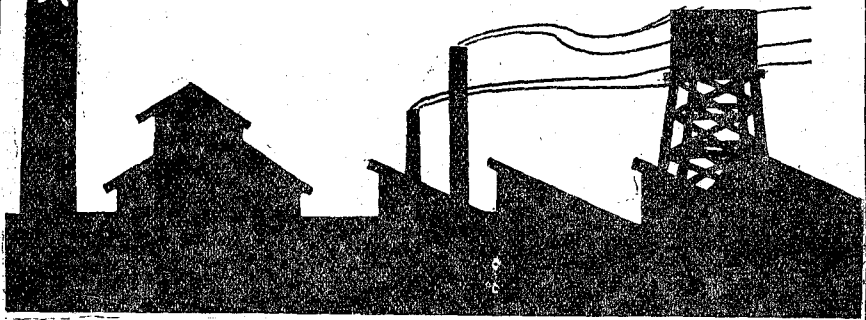
乳剤界の明星

EMULSION AS PHALT



埼玉縣鳩ヶ谷町エムラス舗装道路

エムラス

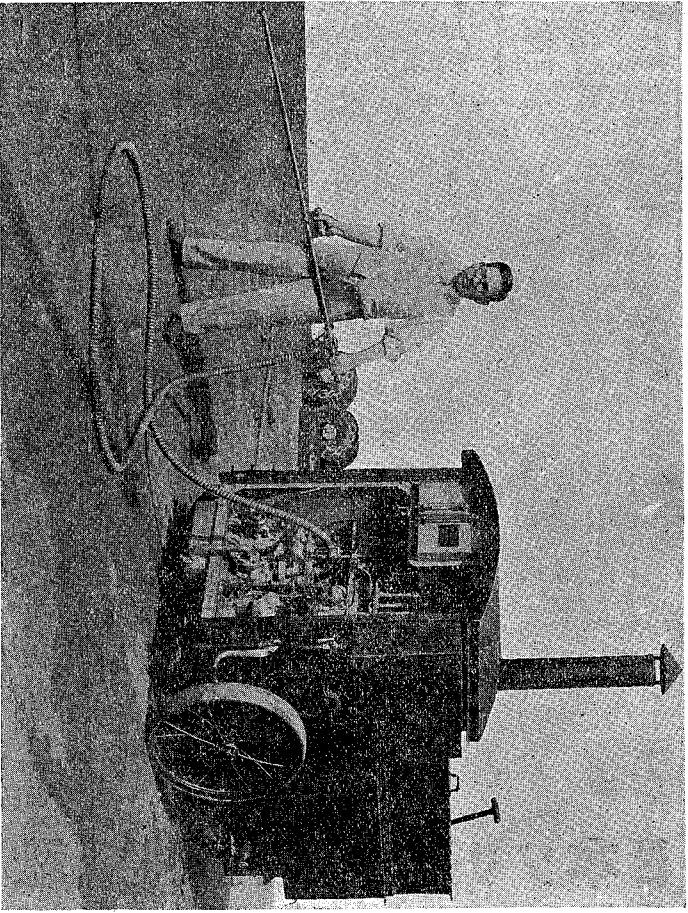


エムラス道路工業株式會社

東京市向島區吾嬬町西四ノ二四 電話墨田(74)二六三七番

簡易鋪裝の革命

石川可搬式乳劑製造機はビエフンと命名しました
ビエフンはアスファルト乳劑製造機
ビエフンはガール及ビツカ等カガム用にも適す
321
本機の製造はアスファルト乳劑製造機
本機の製造はガール及ビツカ等カガム用にも適す
何人でも出来る様に町等に傳授します



東京市京橋區本挽町八丁目四番地(八洲ビルディング)

石川アスファルト株式会社
電話 銀座 (57) 三三三九番・三三四〇番
浦賀船渠株式会社 八洲商會
販賣店製作所

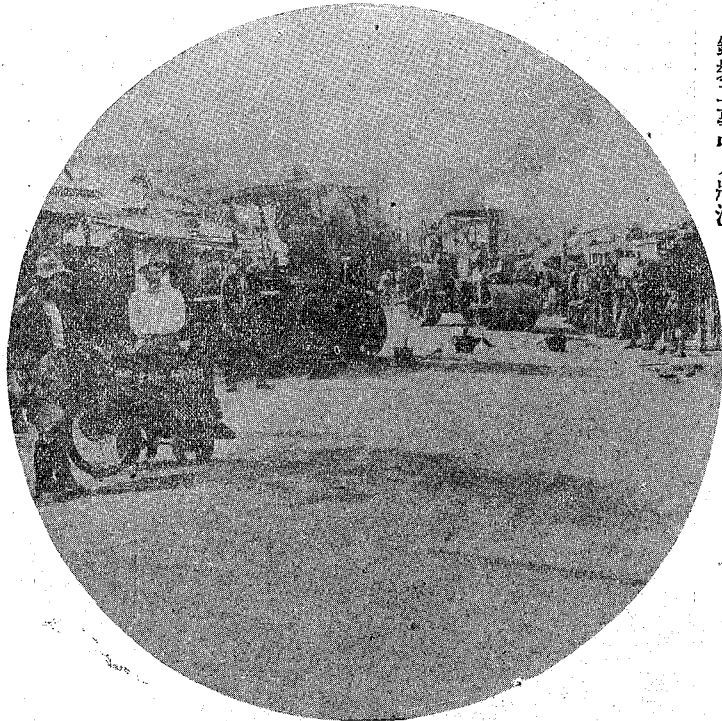


營業科目

土木工事及各種鋪裝工事請負
ネオソリデチット製造及販賣
混凝土各種加工品製造及販賣
鑛滓バラス並=各種碎石販賣
各種アスファルト及タール販賣
アスファルト加工品製造販賣
其他土木建築用材料製造販賣
前掲各項ノ附帶事業及代理業

型錄
進呈

技術顧問 工學博士 牧 彦 七



府縣道關宿野田線千葉縣野田町地内道路ミクニ乳劑マツク
鋪裝工事中ノ狀況

日本ソリデチット株式會社

本社 東京市京橋區京橋三ノ二 片倉ビル内
電話 京橋 5.331 3.161—3.167

大阪出張所 大阪市東區北濱二ノ九〇 片倉ビル内
電話 本局 3.046 3.048 6.351—6.352

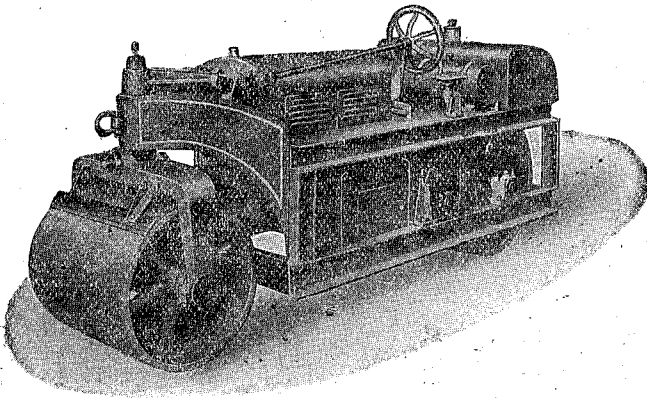
九州出張所 八幡市白川町一丁目製鐵所本事務所前
電話 八幡 1.335

國



産

ロードローラー
エレファント



従來のロード・ローラーは理論上は完全なものであります

弊社のロード・ローラー・エレファントは我等多年の道路舗装工事の體驗から従來のものゝ欠點を毎々補ひたる完全な純國産品ですから能率優秀且つ經濟的であります

其他アスファルト舗装用具一式御用命に應じます

株式會社 高野組機械部

本社 東京市麹町區丸ノ内二丁目海上ビルディング四階

電話丸ノ内(23)一九四八

土 木 建 築 請 負 業

京 城 府 漢 江 通 一 支 店

下 關 市 新 町 一 丁 目 一 二 五 七

支 店

電 話 龍 山 四 四 〇 ・ 七 七 八

福 岡 市 庄 新 川 通 三 ノ 一 九 九

支 店

電 話 下 關 三 八 五

東 京 市 赤 坂 區 青 山 南 町 一 丁 目 一 番 地

株 式 會 社 間 組

電 話 青 山 六 六 六 三 二 二 〇 六 六 六 六 七 六 五 四

東 京 市 荏 原 區 大 崎 町 四 三 六

機 械 部

電 話 高 輪 一 二 七 九

大 阪 市 北 區 中 ノ 島 三 丁 目 朝 日 ビ ル

支 店

電 話 北 四 七 〇 〇

名 古 屋 市 中 區 仲 ノ 三 丁 目 二 五

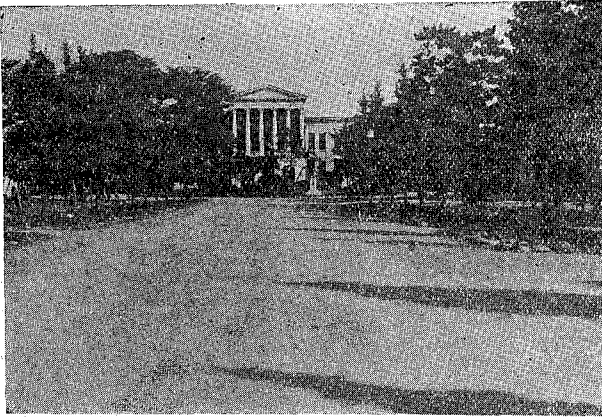
支 店

電 話 本 局 一 六 六 九

◎ アスカル

特許

◎ 瀝青乳劑



アスカル舗装セシヤン青山學院正門通り

◎ 今や浸透撒布式の時代は去れり

簡易混合法施工としての特許アスカルは全世界に

一大「センセイション」を捲き起しつゝあり

東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三

東邦工業合資會社

舊名日本アスカル工業合資會社

電話青山(36)四九七三・八一四八番

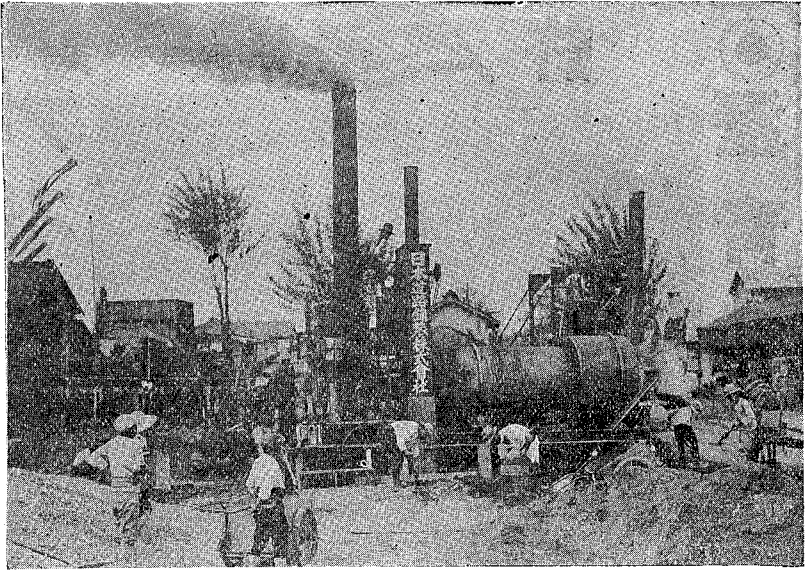
各種舗装工事請負

舗装材アスカル製造販賣

瀝青乳劑

一般土木建築工事請負

營業科目



千葉縣八日市場町アスファルトコンクリート舗装使用に於ける
 アスファルトトラクション作業(昭和八年五月竣工)

營業種目

ニツホ乳劑製造販賣

日鋪乳劑鋪裝工事請負

日鋪加熱鋪裝工事請負

其他各種道路一般工事請負

日本道路鋪裝株式會社

東京市麴町區丸ノ内三丁目十番地

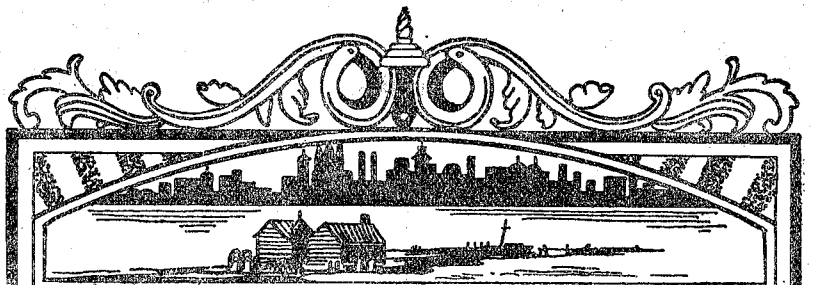
電話 (23) 四八二九番
 四九八二番

昭和八年

道路の改良

七月一日

第五十卷
第七號



言 頭 卷

政變は免れないものと観測されたが、高橋藏相の留任乃至は政友會内紛の暫定の延期などで政局は小康を得た、従つて齋藤内閣は否應なしに昭和九年度豫算を編制せなければならぬ、藏相の留任を懇請して内閣の壽命を延ばした以上當然のことだが、夫れには尠なからぬ惱を藏する、恒例に依る豫算編制方針は緊急已むを得ないものゝ外新規事業は一切之を認めないと言ふ、會て民政黨内閣時代の觸れ出しと同じである、併し税制を整理し社會政策を加味して増税すべきものは増税すと聲明したが是も今のところ解決の曙光さえも見へない、拵を外した軍部の要求する豫算を無下に抑制すれば内閣は瓦解する恐がある、新規事業禁止の方針蓋し此惱に胚胎するのである、併し時運の趨勢に鑑て爲すべく運命附けられた事業が頗る多いとき、新規事業を禁止するのは内閣が無爲にして無能振を聲明したものと云つて可い。

現内閣は成立以來何をしたか？ 此言葉に對して答へ得るものは纔に時局匡救事業あるに過ぎない、併し之も其の末期に屬する九年度に於ては聲明通り實現するか頗る心もとないものがある、不評判な赤字公債の發行は内閣の爲にはならぬであらう、そこで理屈を藪價の騰貴と農村生活の小康とに求めて世を糊塗せむとする、齋藤内閣唯一の事業に於てさへ此の如し他は推して知るべきのみ、併しながら國民生活の實情は難局を去つてゐない、萬一にして世に傳へらるゝが如く九年度に於ける聲明額を減少するが如きあらば、農村は再び元の窮狀を呈し、七八兩年度に於て支出された國帑を水泡に歸せしむるは必定、由々敢社會問題を惹起するは想像するに難くない、此く感ずるとき、内閣の生命を決定すべきものは政友會の策動ではなく、九年度豫算の編制如何にすることを警告して、吾人は之が成行を監視するであらう。